

# おけのこ

ホーパターミナルおおいた HOV.OTA (ホボッタ)

## 第3回定例県議会 災害の早期復旧と備え、 賃上げ支援を強化



九月四日に開会した第  
三回定例県議会は、九月  
二十四日に上程議案に対す  
る採決が行われ、二十一日  
間にわたる全会議日程を終  
えました。

### 台風10号による被害

今回の台風は非常にゆっ  
くりとした速さで県内を横  
断し、降り始めからの雨量  
が六百ミリを超える記録的  
な大雨となりました。

### 持続的な賃上げを支援

本県の最低賃金は五十五  
円引き上げられ、九五四円  
となる見通しです。事業者  
にとっては厳しい経営環境  
の中での賃上げとなります

### 新長期総合計画を策定

昨年の知事交代後から、  
向こう十年間の県政運営の

孤立する集落も見られまし  
た。国に対する支援も強く求  
めながら、県としても全力  
で早期復旧に取り組みなけ  
ればなりません。

指針となる新長  
期総合計画作業  
が進められてき  
ました。県議会はもち  
ろん多くの県民  
の声を反映した  
最終案が今議会  
に提案され、可  
決成立しまし  
た。

## 新大分県長期総合計画（概要）

### 時代の要請や潮流の変化

- 1 想定を上回るスピードで進む人口減少
- 2 多様性を認め合い共生・共創する社会への要請
- 3 地球環境問題の深刻化と自然災害の脅威
- 4 新興感染症対策と社会経済活動の両立
- 5 産業を取り巻く環境の劇的な変化
- 6 デジタル社会の進展と加速する先端技術の活用

### 計画策定の基本的な考え方

- これまでの成果の「継承」と新たなステージへの「発展」  
・前計画「安心・活力・発展プラン 2015」における成果を継承しつつ、「時代の要請や潮流の変化」を読み取った上で必要な政策・施策を見定め、変化を恐れず、明日の大分県を新たなステージへと発展させていく道標として策定
- 県民の声、思いをカタチに  
・策定県民会議をはじめ、市町村長や地域住民、関係団体、高校生など、多様な県民の声を伺い、課題の一つひとつに向き合いながら策定。各施策は、県民が望む10年後の姿を描いた上で、バックキャストの考え方で取組等を整理
- 「10年後のさらにその先」も見据えて  
・広域交通ネットワークの未来像や2050年のカーボンニュートラル実現に向けた挑戦など、10年後のさらにその先も見据えて、先手を打っていく施策も掲載

### 基本目標

- 誰もが**安心**して**元気**に活躍できる大分県
- 知恵と努力が報われ**未来を創造**できる大分県

### 主な取組 19政策 57施策 133指標

#### 安心 7政策 24施策 49指標

- 1 災害対策・危機管理  
・県土強靱化、先端技術による高度化、早期避難の実現  
・能登半島地震も踏まえた対策(住宅耐震化、避難所の物資備蓄・空調整備、孤立集落対策等)の強化  
・感染症対策
- 2 環境保全  
・県民運動「グリーンアップおおいた」、おおいたグリーン事業者認証制度の推進
- 3 こども・子育て支援～子育て満足度日本一の実現～  
・こどもの健やかな育ちや“共育”への支援  
・地域社会全体で子育てを応援する環境づくり
- 4 健康、医療・介護～健康寿命日本一の実現～  
・県民総ぐるみの健康づくり運動  
・医療提供体制の確保、地域包括ケアシステムの充実
- 5 障がい者支援～障がい者活躍日本一の実現～  
・障がい者自らの意志・希望、決定による“活躍”への支援
- 6 人権・共生社会  
・多様な価値観を認め合う社会づくり、NPOとの協働
- 7 治安・県民生活  
・良好な治安、安全・安心な消費生活、食育の推進

#### 元気 7政策 16施策 42指標

- 1 農林水産業  
・農林水産業の成長産業化(園芸・畜産の生産拡大、循環型林業の確立、環境変化に対応した水産業への転換等)
- 2 中小企業・地域経済  
・中小企業の経営基盤強化、多様なスタートアップの創出・支援  
・ものづくり産業の「稼ぐ力」の向上、地域を支える商業の活性化
- 3 観光・ツーリズム～世界に選ばれるおんせん県おおいた～  
・地域の特色を活かした多様なツーリズム、インパウンドの推進  
・自然、文化、環境の保全と両立した持続可能な観光地域づくり
- 4 海外戦略・外国人との共生  
・企業の海外展開支援と県産品の輸出促進  
・外国人に選ばれ、多文化が共生する大分県づくり
- 5 人材確保・育成  
・あらゆる産業の発展を支える人づくり、女性の活躍推進
- 6 芸術文化  
・県民誰もが芸術文化を享受できる機会の充実  
・創造性を活かした産業の高付加価値化や地域づくり
- 7 スポーツ  
・世界に羽ばたく選手の育成、プロスポーツチーム等の合宿誘致

#### 未来創造 5政策 17施策 42指標

- 1 交通ネットワーク、企業立地・産業集積  
・高規格道路など、人や物の流れを活性化する広域交通ネットワークの充実  
・東九州新幹線や豊予海峡ルート構想の実現に向けた県民の理解促進、関係県等との連携や国への働きかけ  
・地域の暮らしを支える公共交通の維持・確保、利便性向上  
・時代の変化に対応した多様な魅力的な企業誘致の推進
- 2 移住・定住、地域づくり  
・本県の魅力により“選ばれる”移住・定住の促進  
・持続可能なコミュニティづくりによる地域の未来への継承
- 3 カーボンニュートラル・GX  
・2050年に向けた「グリーン・コンビナートおおいた推進構想」の実現  
・脱炭素化と持続的成長の両立(GX)に挑戦する事業者支援
- 4 DX・先端技術  
・あらゆる産業のDX、暮らしを支えるDX、行政DXの推進  
・先端技術を活用した新産業の育成と地域課題の解決
- 5 教育  
・遠隔教育システムなどの活用による、県内どの地域でも多様で質の高い教育を受けられる環境の整備  
・データやAIを活用した学びの個別最適化、いじめ・不登校対策の充実  
・大学等との連携による人材の育成・定着と地域の活性化

3つの基本姿

対話 連携 継承・発展 により実行し、○年齢や性別、国籍、障がいの有無等にかかわらず、多様性を認め合い、誰もがいきいきと活躍している「共生社会おおいた」を実現

○魅力・ブランド力が高まり、移住・定住や観光、企業進出、投資など、あらゆる分野で県内外から「選ばれるおおいた」を実現

# 補正予算の概要

今回可決された補正予算は、能登半島地震を踏まえた防災対策の見直しを進める中で早急に対応が必要な経費を計上するとともに、賃上げや働き方改革の実現に向けた取組などを推進するものです。

また、令和5年度決算剰余金を財政調整用基金等に積み立てることとしました。

## <補正後の一般会計予算>

補正額の合計	10,128,015千円
既決予算額	689,979,814千円
累計予算総額	700,107,829千円

## <事業概要> ※主な事業を抜粋（事業費は累計額）

### ■ 大規模災害に備えた防災対策の強化

#### ▶ 備蓄物資管理費

災害時における避難所の衛生環境を確保するため、備蓄基準を見直し携帯トイレの備蓄を拡充する。

- 備蓄数量：最大想定避難者数18万人分（発災後3日分）のうち県備蓄分 67.5万回
  - 備蓄割合：県1/4 市町村1/4 流通備蓄1/2
- 【255,580千円】

#### ▶ 災害時通信環境強化事業

災害時における通信環境を強化するため、通信障害発生に備えた代替手段として、県の災害対策本部等に衛星通信機器（スターリンク）を導入する。

- 導入数：10台



【5,858千円】

### ■ 賃上げと働き方改革の実現

#### ▶ 中小企業金融対策費

持続可能な賃上げの実現に向けた中小・小規模事業者の経営力強化を図るため、事業計画を策定し、専門家のサポートを受けながら収益拡大に取り組む事業者向けの制度資金を創設する。

- 資金名：経営力強化資金
  - 融資限度額：2億8,000万円
  - 融資期間：10年以内（うち据置期間1年以内）
  - 融資利率：1.8～2.0%
  - 保証料率：0.00%
- 【70,338,583千円】

#### ▶ 指定管理施設等運営対策費

急激な人件費の上昇に対応し、早期の賃上げにつなげるため、指定管理委託料の増額を行う。

【39,899千円】

#### ▶ 医療機関医師等支援事業

医師の労働時間短縮と地域医療提供体制確保の両立を図るため、勤務医の勤務環境改善に取り組む医療機関を支援する。

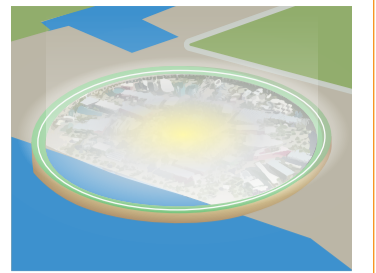
- 対象：時間外・休日労働時間720h/年超の勤務医が在籍し、以下のいずれかを満たす医療機関
    - ・ 救急搬送件数が1,000件以上2,000件未満
    - ・ 常勤換算医師100床あたり40人以上かつ臨床研修基幹病院 など
  - 補助率：コメディカル職員の雇用などタスクシフト導入経費等10/10 勤務管理システムなどICT機器導入経費等 2/3
- 【163,941千円】

### ■ その他

#### ▶ 大阪・関西万博 出展事業

国内外からの誘客や県産品の販売促進等につなげるため、大阪・関西万博での県の魅力発信に向けた出展準備を進める。

- 大分県ブースの展示デザインの作成
  - 県内各地の地域資源PR素材集の制作
- 【5,505千円】



#### ▶ 遠隔教育システム構築事業

県内どの地域においても生徒の可能性を最大限に伸ばし、多様で質の高い学びの機会を提供するため、遠隔教育システムの更なる活用に向けた環境整備を行う。

- 夏休みなど長期休業中の特別講座実施に必要な機器整備
  - 遠隔授業における学校間のグループワーク円滑化や個別指導に必要な機器整備など
- 【174,379千円】

#### ▶ 決算剰余金の基金への積立

今後の健全な財政運営を図るため、令和5年度決算剰余に伴う繰越金の一部を財政調整用基金などに積み立てる。

- 財政調整基金：2,695,356円
  - 減債基金：2,695,356円
  - 社会福祉振興基金：1,309,776円
  - おおいた元気創出基金：1,159,341円
  - 芸術文化基金：80,000円
- 【7,939,829千円】



## 防災士 木田昇の 防災メモ

### 地震発災時のNG行動

地震発生後、注意すべき「やってはいけない（NG）」行動をいくつか紹介します。

ガス漏れに引火して爆発する危険があるので、ライター等の火をつけてはダメです。同じく、プレーカーを上げて通電させると火災の危険があります。（電気のスイッチも同様）



閉じ込められる危険があるので、エレベーターは使ってはいけません。

電話回線がパンクするので、発災直後は不要不急の電話の使用を控えましょう。



割れたガラスの破片等でケガをする危険があるので、部屋の中を裸足で歩かないようにしましょう。

二次被害の危険があるので、救出活動は一人でなくできるだけ複数で行いましょう。



## 最近の活動

### 7月

#### ▶ 第64回地方自治研究大分県集会（日田市）

令和2年7月豪雨で大変な被害を受けた天ヶ瀬温泉。かつての賑わいを取り戻そうと、移住した若者らが中心となって互いに励まし合いながらイベントの開催等に尽力。



#### ▶ 大分政経懇話会「思わず人に言いたくなる！世界史、日本と焼酎の美味しい関係」講師：焼酎プロデューサー、㈱ HarmoniK 代表取締役 黒瀬 暢子氏

- ▶ 連合大分「平和行動 in 大分」
- ▶ 中九州・地域高規格道路促進期成会総会（竹田市）
- ▶ 社会を明るくする運動大分市推進大会
- ▶ 大分大学との意見交換会（こうざき自然海浜公園）
- ▶ 県民クラブ「地域課題研究 in 西部地域」（九重町、玖珠町、日田市）

### 8月

#### ▶ 夏休み子ども議会見学

#### ▶ 県民クラブ「高校のあり方を考える研究会」視察調査（広島市、高知市）

少子化の進行で県内の多くの高校で入学定員割れが続く、存続が危ぶまれる状況。遠隔授業や全国募集等に取り組む先進事例を調査。



- ▶ 大分政経懇話会「南蛮貿易の玄関口、豊後府内」講師：東京大学史料編纂所教授 本郷 和人氏
- ▶ 空港コンセッション導入に関する勉強会
- ▶ 大分県台湾プロモーション  
日台友好議員連盟の取組として県知事と台湾を訪問し、半導体関連企業の誘致、県産品のPRや教育旅行の誘致に取り組む。（写真：新北市立中和高級中学を訪問）



### 9月

- ▶ 第3回定例県議会開会
- ▶ 第77回大分県民スポーツ大会総合開会式（中津市：ダイハツ九州アリーナ）
- ▶ 大分政経懇話会「新しい知見で自然災害から職場を守る」講師：危機管理教育研究所代表 国崎 信江氏
- ▶ 大分県戦没者追悼式（別府市：ビーコンプラザ）  
先の大戦で日本全国の戦没者数は310万人（県内は44,458人）を超える。今なお世界ではウクライナや中東等で紛争が続くなか、恒久平和の実現に向け不断の努力を重ねることを心に深く刻む。
- ▶ 県議会広域交通ネットワーク特別委員会
- ▶ 第3回定例県議会閉会
- ▶ 大友氏顕彰フォーラム in 大分



**公式LINEはコチラ**  
木田昇の議会・政務活動を随時更新中。

ご意見・ご要望なども、お気軽にご連絡ください！  
\*QRコードからお友達登録をよろしくお願いします。

県民クラブHPIはコチラ  
<https://kenmin-club.com/>

**竹の子記**

東九州新幹線と豊予海峽ルートを取扱を巡る議論がいよいよ本格化します。県議会に設置された広域交通ネットワーク特別委員会の調査・審議日程が確認されました。先日、デンマークの経済地理学者、オックスフォード大学教授「ベント・フリウビヤ」氏の著書「BIG THINGS」がプロジェクト驚異的成功の秘密！予算内、期限内で超益を生む戦略とスキーム！」を拜読しました。氏は、世界中のメガプロジェクトの「成否データ」を一万余件以上蓄積し、研究してきたそうです。総じて「当初予想した予算内、期限内に収まり、想定した便益を生む」ことの三拍子が揃う事例はごく稀らしい。但し、プロジェクトの進め方によっては、三拍子を実現できたものも数多くあるとのこと。▼大分県に關わるこの二つの事業費は、現段階でも合わせて三兆円を超えるメガプロジェクトです。本県としてどう対応するかの方向性を見定める意味において、歴史的にも極めて大事な議論となります。▼私は特別委員会の委員長として重責を感じるところですが、今回出会うたフリウビヤ教授の教えに学び、進むべき方向性を的確に導き出したいと決意を新たにしております。